

教育機関向けクライアント機器

～学校法人松蔭学園 松蔭大学さま向けパソコンシステム～

1 概要

端末が多い教育現場では、セキュリティパッチの更新などが、教員やスタッフにとって煩雑な作業になっている。

また、実習用にクライアントOSをWindowsとLinuxで切替えて使いたい、という要望がある。

生徒がシステム環境を変える、電源を突然切るなどして、PCの環境やハードディスクが壊れることがある。

このような背景から株式会社ミントウェーブでは、導入メリットの大きい教育機関向けのクライアント機器を開発した。

導入のメリット

生徒の誤操作で環境が変わっても再起動ですぐ元に戻る

ディスクレスのため故障率がきわめて低い。

OSのパッチ等の更新もPC1台分の作業で済むため、ラク。

運用管理や授業でも活用できる機能のある管理ツールが便利。

安心して情報教育に専念できる環境が実現！

2 納品事例

学校法人松蔭学園 松蔭大学さまには2011年3月にパソコン教育システムとして、シンクライアントシステムを納品した。その当時、ノートシンクライアントを端末とした教育システムは全国的にも初めての事例である。

松蔭大学さまは2015年4月から看護学部の新設が決定しており、パソコン教育をより高度化するため、シンクライアントを使った教室とは別にパソコンを使った教室を新設する計画であった。

株式会社ミントウェーブは本パソコンシステムを松蔭大学さまと打合せの上で2015年3月納品をしたので、ここに報告をする。

3 仕様

パソコンは日本ヒューレット・パッカード株式会社のHP ProDesk 600で構成をした。

オペレーティングシステムはマイクロソフト社Windows 7 Professional を採用し、Office Professional Plus 2013と松蔭大学様のご使用になるフリーソフトウェアで構築をした。

今回、学生のログイン時に工夫を凝らし、

- 1) すべての学生のアカウントでログインができること
- 2) 学生がログイン時に学生個人のデータのみ参照できること
- 3) 市販の有償ツールを活用せず、プロファイルなどで構成することを実現した。また、今後の拡張性についても考慮をしたシステムとなっている。

本システムの外観図を図1に示す。



図1 外観図